

*コロナの新規患者数がすくなくなり、秋の旅行を楽しんでいる人も多いようです。今年もあとひと月とちょっとです。皆様いかがお過ごしでしょうか。

//// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・ ISO 情報……………新しい ISO 規格の作成作業の進捗状況
- ・ LCAF からお知らせ…2021年11月26日(金)13:00:オンライン無料相談室
2021年度後期の研修と検定試験のご案内
- ・ 編集後記……………秋ですね。春の準備も忙しいです。

■ ■ ISO 情報 新しい ISO 規格の進捗状況 ■ ■ —————

私がエキスパートとして作成作業に参加していて、このひと月にオンライン会議があった新規規格の作成状況を報告します。どれも粛々と作業を進めている状況で、目立った進捗はありません。

○ISO59014(二次材料)

もともとは2次金属を製造時の社会的問題(アフリカの児童労働や労働者の健康被害など)に対するトレーサビリティの強化を目指す報告書規格作りだったのですが、ISO/TC207への提案時に特定の産業の規格は作れることができないということで「2次材料全般」に広がり、さらにTC323(サーキュラーエコノミー)との合同作業(Joint Working Group: JWG)になって、ますます規格作りが混迷になっています。10月25,27,28日の3日間に行われた作業でもまだ、Waste(材料ができるのはWasteではなく資源)、部品・部材の呼び方(ComponentかPartsか)などでもめています。さらには、経済用語であるUtility(日本語では「効用」と訳します)を持ち出す人もいて、規格の文章を書くところまで行き着きません。そこで、ドラフティングチームを設立して、文章を書く作業を始めることになりました。今回は12月8日と9日ですが、どこまで合意できるのか、とても心配です。

○ISO14068(カーボンニュートラルリティ)

10月11-12日、21-22日、28-29日、11月4-5日とほぼ毎週日本時間21~25時の会議が開催されていますが、一次ドラフトに寄せられた約1,700のコメントへの対応がまだ終わりません。全体としては、冗長な部分を省き簡略化の方向になっています。たとえば、この規格でカーボンニュートラルを宣言するためのGHG排出量の算定方法は、組織(企業全体)であればISO14064-1を参照し、製品であればISO14067を参照することにし、詳細は書かないことになりました。

この規格では、カーボンニュートラルは排出(Reduction)と除去(Removal)が釣り合うことで除去にはクレジットを購入する(オフセット)ことが含まれます。私は「Avoided Emission(削減貢献量)の導入を主張していますが、ダブルカウントがある、実質的にはGHG増大の可能性があるということで認められない方向です。しかし、参加者の中から「石炭を天然ガスに変えるとGHGが減る」という発言や、14064-1の事務局を務めるフランスから削減貢献量を含める形で14064-1を改編をしたいという発言があり、削減貢献量を導入する動きはこの規格の外で続いてゆくと思います。今回は、今週の11-12日、18-19日、26日が予定されていて、GHGプロトコル(SCOPE3)の扱いなどが議論され、新しいドラフトが完成する予定です。

○ISO14075(ソーシャルLCA)

10月28-29日、11月4日の19時から会議でした。上述のカーボンニュートラルリティと重なっているため、前半の2時間だけ参加しました。TC207/SC5(LCA)で行っているため、目的と調査範囲の設定、インベントリ分析、影響評価というLCAの枠組みを維持することになっています。関係者をStakeholderと呼ばず、Interested Partyにすることになりました。Interested PartyはSocialの被害を受ける人でもあります。労働者や地域の人などのカテゴリごとに、被害の種類を特定する作業が影響評価です。評価の仕方は今後議論されます。また、LCAでその定義が問題になっている比較主張にも取り上げ、「Social Comparative Assertion」の定義を明確にすることになりました。まだまだドラフトが固まりません。

○LCA 日本フォーラム「国際動向セミナー」

毎年行われる「国際動向セミナー」を2021年12月9日(木)に開催する準備が進んでいます。ISO14075(ソーシャルLCA)についてはSC5の日本委員会委員長の私(稲葉)が話します。また、ISO14068(カーボンニュートラリティ)についてはSC7の日本委員会委員長の工藤氏が、TC323(サーキュラーエコノミー)についてはISO59014(二次材料)も含めて中村氏が話す予定です。日程がもうすぐ確定します。LCA日本フォーラムのホームページにご注目ください。
<https://lca-forum.org/>

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○オンライン無料相談室：いつも5～6人の参加です。皆さんの共通のお悩み解決相談室にしたいと思っています。ご遠慮なく、ご入室ください。

2021年11月26日(金) 13:00

<https://zoom.us/j/91670642330?pwd=WUJJPY2V4Y0I4eTZzUTFiTkNEYjBIUT09>

ミーティング ID: 916 7064 2330

パスコード: 271978

○2021年度後期の初級と中級の研修日程が決まりました。詳しくは、LCAF ホームページをご覧ください、

2021年12月16日(木)と17日(金) 初級研修

2021年12月21日(火)と22日(水) 中級研修

○2021年度後期の検定試験です。初級検定試験の過去問題がホームページに掲載されています。中級試験は今回が第1回です。腕試しにご参加ください。

2022年1月28日(金) 初級検定試験

2022年2月以降に中級検定試験

■■ 編集後記 ■■

10月6日(水)の前号(No.35)の発行からひと月以上経ってしまいました。衆議院選挙を終わり、東京の新型コロナの新規感染者数が数十人程度になり、非常事態宣言もなくなりました。このひと月は、いろいろ慌ただしかったと思います。

2021年度もあと5ヶ月になり、遅れているLCAFの事業計画の実施に追われています。皆様の事業もそうであるらしく、LCAについてのご相談が多くなっています。LCAFは初期相談1時間無料を堅持していますので、日中は初期相談、夜はISOの会議という日が続いています。夜の会議はいやですね。21時～25時のカーボンニュートラリティは最悪です。

秋晴れの日が続いているので、どこかに紅葉狩りに行きたいですね。と思いつつ、春に向けてのチューリップやフリージアの植え付け、温室の設置などにも忙しい毎日です。

山茶花が3分咲きになりました。次号はなるべく早く出したいと思います。皆様の近況報告をお待ちしています。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1

インフィニティ池袋 8F52

電子メール: lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL: <https://lcaf.or.jp/>